れんめい和歌山

第23回参議院議員選挙候補予定者~石田まさひろを国政の場に~

第 42 号

発 行 所 和歌山県看護連盟 和歌山市西浜1014-27 看護研修センター内 電 話 073-446-5189 FAX 073-446-5205 発行責任者

谷 **真** 子 印刷所 野田印刷株式会社



CONTENTS

ごあいさつ ····· 2~3	3 研修報告 新人看護職員研修 ・・・・・・・
平成24年度日本看護連盟通常総会開催報告・・ 4	4 男性看護師研修 ·····
平成24年度和歌山県看護連盟通常総会開催報告・ 5	会員研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平成24年度和歌山県看護連盟役員一覧・	5 「私が大切にしていること」・・・・・・・
His.	連盟からのお知らせ・編集後記 他・・・







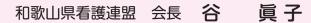














今年は猛暑が続き加えて節電や深夜のオリンピック番組等健康管理が 難しい夏でした。

やっと朝夕涼しくなりましたが会員の皆さまには、お変わりもなくお過 ごしでしょうか。日頃は連盟活動にご協力ご支援を賜っておりますことに 厚く感謝申し上げます。

7月3日の平成24年度通常総会には多くのご来賓にご臨席を賜り、ま た特別講演は石田まさひろ候補予定者を講師にお迎えして盛大に開催す ることができました。

その時、皆さまにご承認いただきました「ベッドサイドから政治を変え る~看護職の代表を熱伝導で、国政の場へ~」をスローガンに平成24年度活動計画にしたがって活動 を進めているところです。看護連盟の使命は、国民の健康を守り、安心と安全の看護を提供することで す。誰もが経験したことのない超高齢・少子社会において、人々のいのちと暮らしを支え、更に社会を より良く変化させていく看護の力を発揮できるために看護職代表を国政の場へ送り続ける努力をしな ければならないと思います。幸いに「石田まさひろ」氏が第23回の参議院議員候補予定者となること を決心してくれ、日本看護連盟総会で満場一致で報補予定者と決定されました。石田まさひろ氏の勇気 ある決断を無にすることのないように、会員の皆さまには石田まさひろ氏と共に第23回参議院議員選 挙に臨む気持ちで支援していただきたいと思っております。石田まさひろ氏には、これまでの経験と現 場の声を大切にして政策提言をしていただけると期待しております。看護職が笑顔で看護が豊かに行わ れる社会づくりを目ざして、熱伝導で会員の力を結集して夢を実現させましょう。引き続きご支援賜り ますようお願い申し上げます。



日本看護連盟 会長 清水 嘉与子

残暑を過ぎたのに連日36℃、37℃という猛暑が続いています。節電を 呼びかけながらも熱中症対策で行過ぎた節電を戒めるなど、国のちぐはぐ な対応にも戸惑いますね。

国会の方もこの夏は消費税増税法案を巡り与党民主党が分裂し、野田総 理に対する参議院の問責決議可決で国会審議もストップ、当分の間衆議院 の解散、総選挙を巡って与野党間の熱い駆け引きが続くことになりましょ う。いずれにしてもそう遠からず行われるであろう阿部俊子衆議院議員の 選挙体制を気にかけつつ、この総選挙の結果が来年の参議院選挙に良い影 響を与えてくれることを願っています。石田まさひろさんはこの暑さにめ

げず国政で取り上げるべき看護政策は何か、会員の声を集約するべく全国を元気に走り回っています。 ベッドサイドから政治を変えるを合言葉に、ぜひ石田昌宏さんが働ける場を確保しようではありません か。和歌山県の各支部の隅々まで熱が伝導されることを期待しています。



衆議院議員 あべ 俊子

和歌山県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、会期が延長された第 180 回通常国会は、税と社会保障の一体改革 をはじめとした日本の将来に大きな影響を与える政策の議論を重ね、会期 末を迎えました。

また一方で私にとっては、看護職の労働環境の改善といった日々の看護に直結する課題をはじめ、医療における患者の意思決定のための法整備

(尊厳死法案) や女性が仕事と家庭を両立するための施策 (学童保育の法的整備) のような、看護職を取り巻く諸課題に対してこれまで以上に精力的に邁進した国会ともなりました。これらの取り組みは、すぐに実を結ぶことはなかなか難しいのですが、「千里の道は一歩から」の言葉にもあるように、一つ一つの課題に対して引き続き丁寧に取り組んでまいる所存です。

そしていよいよ来年は参議院議員選挙の年となります。国政に皆さんの願いを託すことができる看護の仲間をもう一人増やせるよう、候補者である石田まさひろさんへの温かいお力添えを心よりお願い申し上げます。



参議院議員 髙 階 恵美子

和歌川県看護連盟の皆様、こんにちは。

去る9月8日に通常国会は会期末を迎えましたが、今国会は現政権の不適切な国会運営により極めて低い法案成立率となりました。しかし、このような状況の中でも、社会保障・税一体改革関連8法案について、与野党の枠を超えて協議を重ね、8月10日に参議院で可決・成立しました。私も本法案審議のために設置された特別委員会の一員として審議に臨んで参りました。

人口減少時代を迎えたわが国は、大胆に社会保障制度改革を実行し、次代に相応しい強靭な安全・安心・安定の社会像を構築していかなければなりません。

看護は「ひとの生きる力を守り支える技」であり、政治は「社会の生きる力を創り出す仕組み」だと、 私は捉えています。看護職は社会保障の実現者として、常に国民の暮らしに直結する場所で、いのち の始まりを受け止め・いのちを支え・最期を看取る使命を果たしています。

看護職一人一人の地道な活動の積み重ねが社会保障の実現に大きな成果を挙げていることを、広く 社会の皆様に理解して頂き、応援して頂けるようになるため、もっと仲間を増やしていかなければな りません。その絶好の機会が来年の夏にまたやってきます。皆で心を一つに進んで参りましょう。





平成 24 年度日本看護連盟通常総会盛大に開催

日時:平成24年6月15日(金) 11:00~15:00

場所:東京プリンスホテル

代議員報告 報告者: 魚﨑 操(日本赤十字社和歌山医療センター)





平成24年6月15日(金)、開催された通常総会に本会の代議員の一人として参加した。

冒頭、清水嘉与子会長は連盟活動の歴史を振り返り、「厚生行政は看護師不足にもかかわらず、看護師を大事にしているとはいえない状況であること等看護職を取り巻く環境には様々な問題が山積している。私たちが専門職として、よりその力を発揮できる職場環境の実現には、是非とも国政の場に看護の代表を送り出していく必要がある」と挨拶された。

引き続いて来賓である、坂本すが日本看護協会会長、たかがい惠美子参議院議員、田村憲久衆議院議員(自 民党看護問題検討委員会)の祝辞の後、審議事項(第1号議案~第9号議案)に入った。参加者は、代議員 929名・役員10名・一般856名 計1,795名であった。

第1号議案では永年にわたる看護事業の功績と連盟活動への貢献により名誉会員に推薦され、連盟会長より1名、都道府県連盟からは本会推薦の岸浦八重子様はじめ20名の方々が満場一致で選出された。決算案、予算案等の審議の後、平成24年度スローガン「ベッドサイドから政治を変える! ~看護職の代表を熱伝導で、国政の場へ~」を採択し、私たち会員一人ひとりの現場の声を日ごろの看護に対する思いとともに国民の健康を守り、安心と安全の看護を提供するために連盟の代表を国政の場に送り出すために熱い思いを伝えようと確認し、本会から第23回参議院選挙の候補予定者を擁立すること、その候補者として石田まさひろ氏(前日本看護連盟幹事長)を満場一致で決定した。この決定を受けて、南野智恵子氏から送られた赤のネクタイを身につけ、少しスリムになった石田まさひろ氏が大きな拍手に包まれ壇上に立ちその意気込みを語った。

第9号議案の本部役員選出では清水嘉与子会長の再任等審議案が採択された。

また、永年親しんできた看護連盟のシンボルマークであるバブルハートの発案と発展に寄与したとして浅野 花子様、松本明子様に連盟から感謝状の贈呈がされた。

前述のように通常総会は盛会に終了し、引き続き石田まさひろ決起集会が開催され、国政にかける思いを身近に感じることができた。

代議員の一人として今回通常総会に参加し、看護連盟史上初である男性国政選挙候補者決定の場に立ち会わせていただき全国の会員の熱い思いを共有することができた。



平成 24 年度和歌山県看護連盟通常総会開催

平成24年7月7日(土)プラザホープに於いて292名の参加のもと多数のご来賓の方々のご臨席を賜り盛大に開催されました。平成24年度審議事項はすべて賛成多数をもって可決されました。



◇特別講演 テーマ 「看護の未来」

講師:第23回参議院議員候補予定者 石田 まさひろ先生

全国各都道府県に巡回訪問中の中での話。後方病院であるにもあるにも関わらず人工呼吸器を装着した患者が9人で、食事できる人はほとんどいないという状況の中で看護師一人で夜勤するなど、過酷な労働条件を強いられている。一方患者は、入院すると家族の面会も疎遠になり、家族の来院は死亡時のみなどそれで本当の幸せかどうか。インフォームドコンセントし意思決定となっているが、主に治療方針のインフォームドコンセントで、その人の人生を一緒に考えた意思決定をすることが大切で、それが看護師の役割ではないか。一人ひとりの生きざま死にざまを真剣に考える場を設ける必要と、その中に看護師が関わることが必要と感じている。

日本の看護力のレベルは世界でもトップレベルと考えている。江戸時代の本に、患者は自分で病を治そうとする力を持っており、家族は環境を整えその力を支えることが重要であるとあった。この本はナイチンゲールが生まれる前に作成されている。日本では昔から家に看護があった。私たち看護の役割は深くそして重い。ケアの担い手という役割だけでなく、ケアの導き手としての役割もあり、看護師はそのための知識・技術を家族に伝える必要がある。

患者からの感謝が私たちのエネルギーとなっているが、患者からの感謝を導き出しているのは自分たち看護師の自信や誇りが糧となっている。看護師が自信や誇りを持って働くことは(是非は別問題として)法律で記されており、そのためにも笑顔で働くことのできる環境作りが必要である。そのために自分ができる(政治の力)原点として、人手不足の解消、処遇の改善(金銭的な問題だけでなく社会的価値の向上)に努め、それがひいては看護の向上につながる。国民全体が満足できる国作りに尽力していきたい。

平成 24 年度県役員一覧

会 長	谷 眞子	副会長	木 村 和 子	副会長	仁 木 満
幹事長	前 田 香 代	幹事	古川紀子	幹事	福壽和美
幹事	原 紀子	幹事	小田垣 弥智世	幹事	岩橋杉子
幹事	南美枝子	幹事	片 山 清 子	幹事	久 保 節 子
幹事	大 江 美佐子	監事	大字京子	監事	松浦三代

研修報告

■ 新人看護職員研修

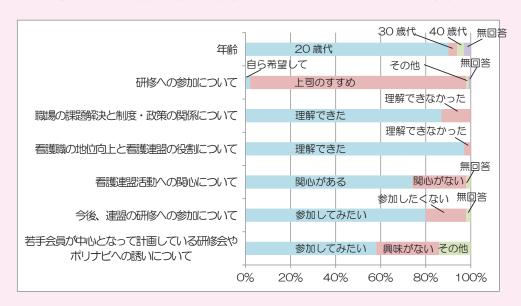
平成24年5月31日 (木) 13:30~16:00 プラザホープ 24名参加 平成24年6月23日 (土) 10:00~12:00 プラザホープ 102名参加

テーマ: 「働きつづけられるために」

ねらい:看護制度や政策に関心をもち、専門職としての役割が認識できる

講師:日本看護連盟政治アカデミー第1期生

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 副看護師長 長谷川 佳代子 先生



■ 男性看護師研修

平成24年7月21日(土)13:30~16:00 プラザホープ 44名参加

テーマ: 「男性看護師としてキャリアアップについて」

ねらい: 男性の特性を活かしたキャリアアップについて考える

講師:東京大学大学院客員研究員

前日本看護連盟幹事 窪田 和巳 先生



■ たかがい先生を迎え研修

平成24年9月15日(土)13:30~15:30 プラザホープ 153名参加

テーマ:「看護と政治」

講師:参議院議員高階恵美子先生





「研修報告」

橋本市民病院 上田 久美

平成 24 年 9 月 15 日 (土) に、勤労福祉会館プラザホープで、会員研修が行われました。参加者は 153 名で、テーマは「看護と政治」、講師は、参議院議員の高階恵美子先生でした。

高階先生は、「看護の高階」と言われるようになってきていると話しておられました、看護職の「現場の声」を国政に反映させるべく頑張っていきましょうと話され、東日本大震災では、現場の行動力が看護職に対する信頼感に結びついているとも話されました。高階恵美子先生は、講演をしながら議員バッジをみんなにまわして下さいました。私も実際に議員バッジを手に取り、触らせて頂きました。ベルベットの素材だったように思います。実際に触れた皆さんが沢山います。皆さんもどのように感じながら触れたんでしょうか・・・講演が終わり高階先生は帰られる時に、「議員バッジをみんなに触ってもらい、みんなのパワーをもらって帰ります。」と言ってくれていました。これからも、看護の代表として、現場の声を国政に伝えてもらいたいと思いました。またそのためには、私たちが現場の声を届けなければいけないことも感じました。

「私が大切にしていること」

和歌山県立医科大学附属病院 榎本 真次



私が看護師として働きだし早や14年、そして和歌山の地に初めて足を踏み入れてから、9年が過ぎました。当時と比べると、男性看護師さん達が実践場面で働く姿をとても多く見かけるようになりましたが、私は、今年度から和歌山県立医科大学附属病院で初の男性看護師長として、中間管理者の立場で実践場面に就いています。

いろいろな思いを胸に看護師となり、初めて働き始めたフィールドは精神科。そのフィールドで患者さんからとても多くのことを学びました。そして、今も学び続けています。この学びをもとにして看護実践し続け、入院中に過ぎていく大切な時間を共に過ごせるような看護師であり続けたいと思っています。そして、管理者となった今も、看護の実践者と

して常に学び続け、入院という大きなイベントを迎えられる患者さんの思いと向き合えるような看護師であり続けたいと思います。



連盟からのお知らせ

和歌山県看護連盟

看護管理者研修

開催日: 平成24年10月20日(土)

会 場:プラザホープ

テーマ: 「看護政策と看護管理

~政策が看護管理に及ぼす

影響について~」

ねらい:政策が看護管理に及ぼす影響に

ついて考える。

講 師:医療法人 平成記念病院

副院長・看護部長

伊東 厚子 先生

平成 24 年度県別会議 及びリーダーセミナー

開催日:平成24年11月3日(土)

会 場:プラザホープ





平成24年度 連盟会員 入会受付中!

年 会 費

日 本 看 護 連 盟 会 費 5,000 円 和歌山県看護連盟会費 3,000 円

計 8,000円

入会はいつでもできます。 お待ちしております。





編集後記



れんめい和歌山第 42 号をお届けします。和歌山県看護連盟通常総会には、多数の来賓の方々をお迎えして盛大に開催することができました。また、特別講演には石田先生が「看護の未来」と題して話されました。会場は、石田先生の熱いお話に盛り上がり大きな拍手が起こりました。石田先生をみんなの力で国政へ送り出しましょう。 広報委員一同

本物の豊かさ やさしく包み込まれる 楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40。1cmに5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。





大阪営業所 〒564-0082 大阪府吹田市重水町3-8-12 〒610-120-88-2104 ホームページアドレス http://www.toyoumo.co.jp